

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	1949年12月14日 (創業: 1906年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売、レンタル、リース及び輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルティング。 機械工具器具とその部品類の加工販売、レンタル、リース及び輸出入。 古物売買業。
従業員数	連結 266名/単体 238名 (嘱託社員を除く) (2023年9月30日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ( <a href="https://www.toba.co.jp/">https://www.toba.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。



株式会社 鳥羽洋行  
証券コード: 7472



2023年12月

代表取締役社長  
遠藤 稔

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第75期中間期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期における世界経済及び日本経済は、日米欧では消費活動が緩やかな持ち直しから横ばい傾向で推移いたしました。しかし、中国では不動産市場の悪化等を背景に個人消費は停滞し、景気が減速しています。また、欧米を中心とした金融引き締め継続、米国

主導の対半導体輸出規制の影響等により、依然として先行きは不透明な状況であります。

このような経済環境下における当社グループの国内販売は、情報通信技術の成長に伴うデータセンターの建設や拡張等、中長期的な半導体市場全般の活発な設備投資が見込まれておりますが、長引くメモリ半導体等の需要減により半導体製造装置に関連する得意先への販売は低迷いたしました。一方、自動車関連の得意先への販売は、車載用半導体不足の緩和やEV・HV関連の電池需要増加等、設備投資は旺盛で、関連するFA機器の販売は底堅く推移いたしました。

海外販売は、中国における景気減速の影響を受け、スマートフォン等のデバイス需要が低迷し、電子部品関連の得意先への産業用ロボットの販売が減少いたしました。

以上の結果、売上高は138億7百万円(前年同期比8.4%減)、営業利益は7億31百万円(前年同期比20.3%減)、経常利益は7億80百万円(前年同期比20.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は5億37百万円(前年同期比20.9%減)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**制御機器** 生産設備の構成には欠かせない

**売上高38億5百万円**

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体及び半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品、工作機械等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、コロナ禍における在宅特需が一巡し、PCやスマートフォン向けメモリ半導体の需要が低迷した影響により、半導体製造装置に関連する得意先への販売は低迷いたしました。また、eコマースに関連する得意先からの受注も、設備投資需要の減少により前年同期を下回る結果となりました。

以上により制御機器全体の売上高は前年同期を下回る38億5百万円(前年同期比11.0%減)となりました。



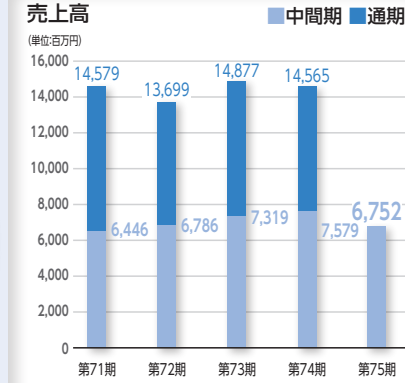
**FA機器** 工場の自動化・コストダウンを実現

**売上高67億52百万円**

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、世界的な半導体不足は緩和しており、自動車・車載部品に関連する得意先の設備投資は回復基調に推移いたしました。特に、電気自動車等に関連する得意先へのFA機器の販売は好調でありました。しかし、中国では個人消費が停滞し、スマートフォン向け電子部品に関連する得意先への産業用ロボットの販売が、前年同期を大きく下回る結果となりました。

以上によりFA機器全体の売上高は前年同期を下回る67億52百万円(前年同期比10.9%減)となりました。



**健康経営への取り組み**

「健康優良企業 銀の認定」

当社は、社員の健康推進に関する取組みを積極的に実施しております。2023年8月、健康保険組合連合会より当社の健康経営への取組みが評価され「健康優良企業 銀の認定」を受けました。

今後も、健康診断受診率の更なる向上、受診後のアフターフォロー等、社員やその家族が心身ともに健康を維持できるよう、社内環境整備を推進してまいります。



**展示会のご報告**

- 2023年7月26日～28日  
第3回 工場内の協働ロボット利活用展(東京ビッグサイト)  
当社ブース来場者数 1,860名
- 2023年10月4日～6日  
第26回 関西 機械要素技術展 (インテックス大阪)  
当社ブース来場者数 2,582名

コロナ禍で自粛しておりました大型展示会への出展を昨年度より再開し、本年も上記展示会へ出展いたしました。各展示会では、事業内容の説明や取扱い商材(今後の注力商品等)をデモ機実演とともに紹介し、商談を行いました。具体的な引き合いも多数いただいております。現在、営業部門でお客様へのフォローを行っております。今後も主要な展示会へ積極的に出展し、売上の拡大と企業価値向上を目指してまいります。



当社ブースの様子

**産業機器** 生産組立て作業の必需品

**売上高32億50百万円**

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、車載用半導体不足の緩和や電気自動車関連の継続的な設備投資等により、自動車・車載部品関連の得意先へのナット締め装置の販売が好調でありました。また、半導体市場は低迷しましたが、半導体製造に関連する得意先向けのろ過フィルターは、好調であった前年同期を若干下回ったものの、全体的に安定した販売状況が続きました。

以上により産業機器全体の売上高は前年同期を上回る32億50百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

